



今に文明が一段と進んだら、交通機関は空中や地下へ移って町の路面は一と昔前の静かさに復ると云う説もあるが、いずれその時分にはまた新しい老人いじめの設備が生れることは分りきっている。結局年寄りには引っ込んでいろと云うことになるので、自分の家にちぎこまって手料理を肴に晩酌を傾けながら、ラジオでも聞いているより外に所在がなくなる。

「陰翳礼讃」 谷崎潤一郎